

New Hope

～札幌ペンテコステ教会ニュース～

2016年3月

卒業の季節。別れの季節。

この3月を機に、新しい歩みに踏み出す方も少なくないことと思います。

学校であれば『卒業証書』や『成績表』という成果を上げて、次のステージに進んで行くことでしょう。職場であれば、異動、昇進、転勤、昇給などによって、高い成果に報いが、或いは今一つの結果に対する制裁が、表されていくかも知れません。

年齢を重ねるに従って、年度末・年末・会計年度末などの区切りに際して、時間というもの如何に早く過ぎ行くことか、人生の残り時間を思うことが増えてくるのではないのでしょうか。

札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南 14 条西 18 丁目 4-5

TEL&FAX 011-561-5072

<http://sapporopk.com/>

やがて来る『卒業の時』に

人は、必ずその人生にも『卒業の時』を迎えます。「天寿を全うした」と評されても、せいぜい120歳。日本人女性の平均は86歳。病気や事故、事件、災害によって、若くして人生を終える方もおられます。大震災で犠牲になった大勢の方々も、その直前まで、ご自分が命を落とすことになるとは微塵も思わなかったことでしょう。

いつかやって来る、人生の卒業の時。その時になって慌てたり、恐れたり、驚いたりすることのないように、準備は出来ているでしょうか。行き先に、確信はあるでしょうか。

一度だけ死ぬことと、死んだ後さばきを受けることが、人間に定まっている……

(新約聖書 ヘブル人への手紙 第9章 27節)

聖書には、「死後のさばき」のことが書いてあります。人間とは、生まれながらに罪人であること。それは、自らの意思や努力ではどうすることも出来ない、根深い問題であること。イエス・キリストが身代わりとなって十字架に掛けられた事を信じ受け入れることだけが「救いに至る道」であると、記されています。

死後に経験する永遠の時を、どこで過ごすのか。それを決めるのは、地位や名誉、財産、経験、宗教、道徳、倫理などではありません。人間に魂を与え、生と死とを司っ



ておられる、唯一の本物の神さまだけが、イエス・キリストを通して、「さばき」による滅びから救い、永遠のいのち、すなわち愛に満ちた神と共に過ごす時を与えるのです。

祈ってみましょう



天地万物の創造者である、父なる神さま。普段意識していませんでしたが、人生には必ず終わりがあることを思い起こしました。自分が生きている意味は何か、どのように生きるべきか、死後はどうなるのか、確信を持って歩いていくことができるように、助けて下さい。イエス・キリストの十字架による『救い』について、正しく理解し受け取っていくことができるよう、導いて下さい。イエス様の御名前によって、お祈りいたします。

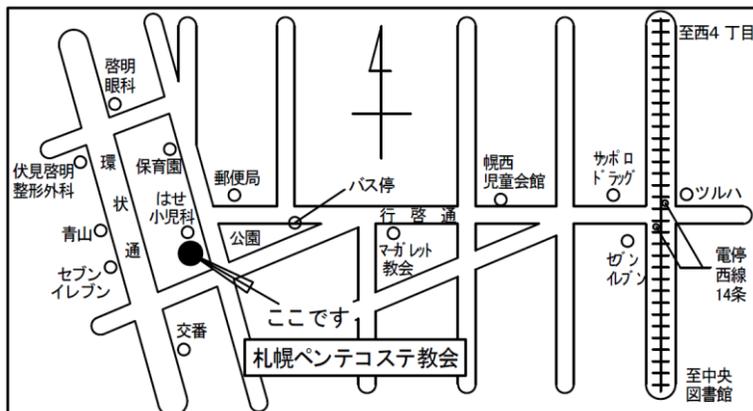
教会の定期集会のご案内

- GP クラブ** こどものためのプログラムです。(毎週日曜日 あさ 9:00~10:00)
毎月 1 回、日曜日の午後「GP ワークショップ」を開催しています。
- 聖日礼拝
祈り会** 聖書を通じて神さまを知ります。(毎週日曜日 あさ 10:30~12:00)
神さまを賛美し祈り新たな力を受けます。
(概ね、第 2・4 木曜日 よる 7:00~8:30)

どの集まりも参加自由、入場無料です。それぞれ、自由献金の時間がありますが、「感謝の気持ちをささげる」ためのもので、各自の自由です。

教会のホームページ <http://sapporopk.com/>

NewHope のバックナンバーを読んだり、教会の様子を見たりすることができます。



【教会へのアクセス】

西 4 丁目電停から市電にて
西線 14 条下車

JR 札幌駅札幌ターミナルから、
JR 北海道バス啓明線[51]にて
南 14 条西 17 丁目下車